

野党共闘攻撃は追い詰められた姿

(岡山選挙区の自民党候補の演説会から)

6月22日に自民党公認の小野田きみ岡山選挙区候補の出陣式が行われました。出陣式では橋本岳衆議院議員や加藤勝信一億総活躍担当大臣、公明党の谷合まさあき参院比例候補などがあいさつしました。その中で、加藤氏と谷合氏が野党共闘攻撃を行ったので、紹介します。特に谷合氏は、あいさつのほぼすべてで野党攻撃に終始しました。このことから、彼らが追い詰められ、焦っていることがうかがえます。
(傍線部は野党共闘への攻撃部分です)。

(加藤氏)

自公安倍政権は3年半前に日本を取り戻すというスローガンで政権を奪還。この3年半、安倍総理を筆頭に、アベノミクスなど様々な政策を展開し、国民のみなさん、岡山県・岡山市民のみなさんの努力によって、経済が回復し、デフレから脱却しようとしている。一人一人の気持ちが変わってきた、前向きな気持ちになってきた。この流れを閉ざしてはいけない、強くしていく。

相手候補は、理念も異なる、政策も異なる、単に選挙だけのために一緒になっている。こういう党に断固負けるわけにはいきません。

(谷合氏)

このたびの参議院選挙は自公政権による安定した政治を前に進めるのか、それとも民共による混乱政治に逆戻りさせるのか。その選択が問われる参議院選挙であります。選挙目当ての野党勢力に、私たちの大事な日本、この岡山、そしてこの大事な一票を差し出してはいけません。

6月21日小池晃書記局長の会見より・・・

日本共産党の小池晃書記局長は21日の会見で、野党共闘や日本共産党を攻撃する出所不明のビラが各地でまかれていることについて、「野党が勝利することを望まない勢力が追い詰められてやっているのだろうが、こういう卑劣で謀略的な攻撃は直ちにやめるべきだ」と厳しく批判しました。

小池氏は「野党共闘によって1人区で自民党を追いつめている表れだ」と指摘。宮城県の村井嘉浩知事が記者会見で、「『共産党がついている方は駄目で悪い』というのは行き

過ぎた議論だ」と、与党側の過熱する反共キャンペーンに苦言を呈していることを紹介し、「非常に良識的な発言だ。民意を受けて地方政治でも国政においても役割を果たしている公党に対し、卑劣な攻撃をすることは許されない」と強調しました。

小池氏は、安倍首相自らが“民進党にはもれなく共産党がついてくる”“気をつけよう甘い言葉と民進党”などと繰り返していることについて、「総理大臣、あるいは政権党の最高幹部が口にするせりふではない。品性にも知性にも欠けた発言としか言いようがなく情けない。こういうことしか言えなくなっているところに、安倍政権の追い詰められた姿がはっきり出ている」と述べました。

(6月22日付しんぶん赤旗)